

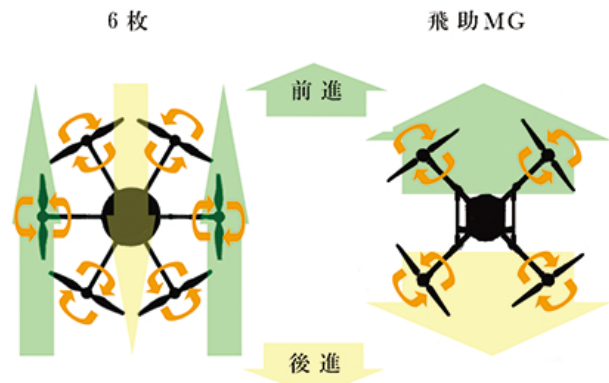
前進でも後進でも変わらない散布品質を

共同開発した散布切替装置は、無人ヘリと戦える高い散布品質を実現しました。飛助MGには2つのポンプを装備し、吐出量を保持しながら前進時は前側ノズルから、後進時は後側ノズルから噴霧されるようにコンピューターが自動制御を行います。前後進で噴霧ノズルを変えることで、強いダウンウォッシュで薬剤を吹きおろし、ドリフト問題の低減と、作物根元や葉の裏まで均一に付着させることが可能です。

※この散布技術はマゼックス独自技術によるもので「J P O 9 4 1」特許出願中です。



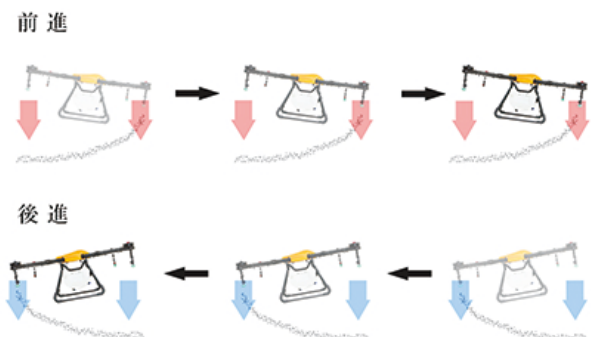
4枚プロペラのメリット



飛助MGは30インチプロペラを採用し、大きなプロペラは小さなプロペラと比べ強力なダウンウォッシュを発生させ薬剤を作物の根元や葉の裏まで散布できます。飛助MGは進行方向に対してプロペラの回転方向が変わらないので、前後進でも散布性能が変わりません。大きなプロペラは低回転で静かなので、住宅街でも早朝から作業が可能です。

※右上図は、緑部分が前進時に薬剤が多くなるエリア、黄部分が後進時に多くなるエリアです。

前後切替装置のメリット



噴霧ノズルを《前側・後側》で切り替えることにより従来の約2倍のダウンウォッシュを確保しました。

- ①ノズルから噴霧された薬剤は進行方向側のプロペラによって真下に吹き降ろします。
- ②その上を通過する逆側プロペラのダウンウォッシュによりさらに薬剤を抑え込み作物に付着させます。

メリットの組み合わせで
軽量な機体でも高い散布品質を実現!!